

みなさんこんにちは!! 無事にセンター祭も終わり皆さんお疲れ様でした。天気にも恵まれ、いいお祭りだったと思います。皆さんのおかげで模擬店を中心に多くの売上がありました。利用者さん、ご家族の方にはご協力感謝いたします。センター全体としては少し人の入りが少なかったようですが、3階の様子を見ると、全然少なくない感じで、3階の頑張りが、だんだん浸透しているように思います。今年はクレープやポップコーンなど新しいものも始めました。ご存知のように3階の限られたスペースで多くの方を置けいれるのは大変ですが、もう少し工夫をして人の行き来がうまく行けば大丈夫なのかなーと考えていました。品物によっては少し間に合わないものもあったりして、来年に向けた課題も見つかり、有意義なイベントでありました。



11月からは他の施設でもいろいろな催しがあります。

11月2日(日): 高田馬場福祉作業所 アトム祭

11月8日(土): 新宿生活実習所 ぽれぽれ祭

11月15日(土)～16日(日): チャレンジド・フェスティバル

11月16日(日): ここから広場 ここから祭り

11月29日(土): 住吉生涯学習館 住吉生涯学習館祭り

11月30日(日): 手をつなぐ親の会バザー

こんなにいっぱいあるので、なかなか週末忙しい状態です。なかでも11月15日(土)～16日(日)で参加するチャレンジド・フェスティバルは今年初めての参加ですが、東京都や厚労省も後援するかなり大きなイベントです。日比谷公園の噴水広場というところで、行われる障がいを持つ人が主体となった大きな催しです。チャレンジドというのは、障がいをお持ちの方イコール“挑戦(チャレンジ)をする人”という意味ですが障がいや病気をお持ちの方のことをこうして言うことがあります。ディスアビリティーズという言い方も、障がいを持つ人という意味ですが、何か・・・できないという意味にもとれて、少し抵抗がある人もいます。皆さんは新宿福祉作業所で多くのチャレンジをされているので、このチャレンジドという呼び方には合っているなーと感じます。このイベントへの参加は自由参加ですが、当日は、ベーカリーやアクセサリーの販売を行いますので、ぜひ皆さん参加をしていただければと思います。いろいろなアーティストが歌を歌ったり、パフォーマンスをしたりしますので、楽しいイベントになると思います。外国では30年くらい前からこうしたイベントが多く開催されています。こうした動きは、ソーシャルインクルージョンという考えの中で、障がいを持つ人の文化を、独自の文化として発展させようと何万人という大きなイベントがいくつかありました。日本でもこうしたイベントができることをとてもうれしく思いますので、みんなで参加しましょう!!

所長 佐々木章吾